

## あま市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画

## 第 3 回策定委員会における意見への対応

## (1) あま市都市計画マスタープランについて

## 【質疑・応答】

	内 容	回 答	対応 (案)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 2 (9 頁) にある住宅用地フレームの数値は、将来的に不足する用地を示しているものか。また、この数値と将来都市構造図に示される市街化検討ゾーンは整合が図られているという理解でよいか。【小林委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世帯当たり人員等が今後変化することが予測されることから、現状の市街化区域内の低未利用地を活用しても、住宅用地が不足する試算となっている。</li> <li>市街化検討ゾーンの中から条件に応じて検討することを想定しているため、ゾーンの面積と試算した数値は現時点で一致していない。</li> </ul> <p>【事務局】</p>	—
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口フレームの算出方法は、愛知県方式を準用していることは分かるが、あま市の地域特性を踏まえた方法で算出していたらよい。</li> <li>現在の市街化区域人口が 70,000 人であるのに対し、試算では 60,000 人となっている。既存の市街化区域の住みやすさを維持・向上していく方針であれば、現況の 70,000 人は維持か増加が妥当だと考えるため、その上で新規のフレームを設定していくことが大切だと思う。</li> <li>フレームと市街化検討ゾーンの規模はある程度整合を図る必要がある。</li> <li>目標年次は令和 14 年としているが、長期的な視点で都市構造を描くならば、20 年後の令和 24 年を見据えたフレーム検討をしても良いのではないか。</li> </ul> <p>【朝田委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見を踏まえて、フレーム試算の精査をしながら、将来都市構造図の表現を検討する。</li> </ul> <p>【事務局】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレームについては、次回 (第 5 回) 改めて提示する。</li> </ul>

	内 容	回 答	対 応 (案)
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在示されている市街化検討ゾーンは、どのくらいの規模を想定しているか。【嶋田委員長】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・200ha 程度を想定している。【事務局】</li> </ul>	—
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2 (22 頁) の公共交通に関する方針の中に ICT やマイクロモビリティの記載があるが、あま市の現状と結び付かない。何か具体的に検討していることはあるか。【小林委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市に SRT 構想があるため、それを本市に呼び込みたいと考えている。市北部には鉄道があるが、南部には基幹交通が無いため、この SRT が南部の基幹交通になればと考えている。【事務局】</li> </ul>	—
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2 (23 頁) に「まちなかの緑とオープンスペース」という文言があるが、「まちなか」という表現は駅周辺が連想され、例として記載されている森ヶ丘公園や二ツ寺親水公園のある場所と結び付かないため、項目を分けてはどうか。</li> <li>・また、31 頁に「緑化を支援する制度の導入」とあるが、既に県の「森と緑づくり税」を活用した制度があると思うため、制度の活用という表現にしてはどうか。【竹内委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現を再考する。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2 (23 頁) については、項目を分ける。【参考資料① P3-18】</li> <li>・資料2 (31 頁) については、「あいち森と緑づくり基金」による支援制度の活用に関する文言を追加する。【参考資料① P3-26】</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来都市構造図に記載されている各拠点の規模はどのくらいを想定しているか。【嶋田委員長】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね半径 1km 弱を想定している。【事務局】</li> </ul>	—
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甚目寺駅周辺の拠点について、北に偏心しているが、駅南側も重要な拠点であるため、表現を再考してはどうか。地域別構想も含めて表現を検討していただきたい。【朝田委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の地域別構想検討も含め、表現方法を検討する。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点の円について、駅南も含めるよう修正する。(地域別構想とも) 【参考資料① P3-9 (将来都市構造図)、P3-14 (土地利用方針図)】</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の体力づくりを図るため、公園内で簡単な運動ができる器具などを設置してほしい。【井村委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖之島地区に新設された公園内に健康器具を設置した。今後も社会情勢や市民ニーズを踏まえながら、設置を検討していきたい。計画への反映としては、緑の基本計画の中で記載する。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の基本計画の基本施策「2-2 地域の特性に応じた公園の整備・充実」の中で、「③地域の特性に応じた公園の再整備 市民ニーズに対応した公園再生」として市民ニーズに対応した施設設置等を行うこととする。【資料 3 P4-6】</li> </ul>

	内 容	回 答	対 応 ( 案 )
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災以降、あま市に移住してきた方に体験談を伺うと東北は避難体制が構築されていると感じた。一方、あま市では住民の防災意識が低く、本当に避難行動がとれるのかが不安に感じていることから、防災に関する記述をもう少し盛り込んでいただきたい。【北野委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、無料で耐震診断を実施しているが、東日本大震災から月日が経過したためか利用が低下しているように感じる。</li> <li>防災に関する記述は重要であるため、周知の必要性等を含めて記載を見直していきたい。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市づくりの課題に、住民の防災意識向上に関する記述を追加する。【参考資料 ① P2-59】</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携協働の活動を行うためには、活動の場として利用できる拠点形成が大切だと思うため、拠点整備等の記述を追加してはどうか。【小林委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記載内容も含めて検討する。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市づくりの課題に、市民のまちづくり活動の場の充実に関する記述を追加する。【参考資料① P2-59】</li> </ul>

(2) あま市緑の基本計画について

【質疑・応答】

	内 容	回 答	対 応 (案)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園などの整備の方針の中で、拠点となる公園・緑地の整備という文言があるが、「整備」という表現だと新たに公園をつくることを連想させるため、再整備であればそのような表現に見直してはどうか。</li> <li>・緑の保全・創出・活用の方針と施策の展開の流れがもう少し分かりやすくなると良い。【竹内委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の施策検討を踏まえ、表現を見直す。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後市街化を想定する区域においては、新たな公園整備を推進することから、「整備」の表現は残す。【資料3 P3-8】</li> <li>・施策の体系として、基本方針と施策のつながりを表現するとともに【資料3 P4-1】、各施策に保全・創出・活用・管理のタグを付ける【資料3 P4-2～】。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッグランがボランティア管理ということを知り、とても良い考えだと思った。民間活力を導入した管理などの取り組みを実践していきたいと思っても、どうしていいかわからない方もいると思うため、制度の周知・活用方法なども記載していただくとよいと思う。【小林委員】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力を導入する制度の周知や活用方法などについても記載していく。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本施策「3-2 市民や事業者との連携・協働の推進」の中で、「②民間活力導入による公園の運営」として、制度導入について記載するとともに、制度に関する情報発信について記載する【資料3 P4-9】。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政主導で民間活力を導入したモデルケースをつくれると良いと思う。【嶋田委員長】</li> </ul>	-	-
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッグランで芝生を採用しているのは、珍しく目玉になると思う。世界に比べ日本はドッグランが少ない現状にあるため、ぜひ頑張ってください。【嶋田委員長】</li> </ul>	-	-
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮華寺寺叢は、歴史的にも重要な拠点だと思うが、将来像図では、歴史・文化拠点ではなく、緑の拠点となっている。どのように使い分けをしているのか。【小林委員】</li> <li>・緑の拠点と歴史・文化拠点の丸を二重で表現しても良いのではないか【嶋田委員長】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮華寺寺叢は、県の自然環境保全地域であることから、将来像図の中では、貴重な樹林地であることを優先して、緑の拠点として位置付けている。【事務局】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮華寺寺叢は、緑の拠点と歴史・文化拠点の両方で位置付けることとし、将来像図では二重円で表現する。</li> <li>・七宝焼アートヴィレッジも、緑の拠点と歴史・文化拠点の両方で位置付ける。【資料3 P3-3, 3-5】</li> </ul>